

## 川と暮らしを語りつぐための地図～過去を書き込むことが、未来につながっていく～

11月29日～12月7日、四万十市中央公民会2階大会議室で「くろそん手帖特別展覧会」が開催されます。今回はこれまでの手帖に加えて、みんなでつくる大手帖～瀬湊の名前編、石カケ編～や、これまでの手書き散歩の様子が見える、高知県芸術祭参加の特別展示になります。

はて？くろそん手帖？という方も多いでしょう。今回はこの知られざる、ちょっと珍しい手帖と関連のイベントなどについてご紹介します。

### 黒尊川の流域の白地図、くろそん手帖

手帖そのもの、表紙 A4 より一回り大きい黒い厚紙が三つ折りになっていて、黒で「くろそん手帖」とあり、縦に黒いゴム留め。中身は高さ 21cm 横は 10cm 程で、蛇腹に折り畳まれたざらっとして黄色がかった紙を延ばすと全長は約 2m、水色で描かれた川の流れ、周囲の木々は薄いグリーン、地名や施設、看板、目印等が灰色の濃淡で刷られた長～い白地図です。四万十川の支流のなかでも最も美しいとも言われる黒尊川の 31km～宇和島市との境になっている八面山やっづらやまを源に旧西土佐村口屋内で四万十川と合流するまで～が、たっぷりの余白とともに収まっています。

平成 21 年に四万十川流域 5 市町の川との暮らしの景観が文化庁から国の重要文化的景観に選定されたのを機に、黒尊流域の住民グループ「黒尊むら」と四万十市の



くろそん手帖と、配布されている資料、散歩参加記念のペナントシール教育委員会との協働で黒尊川流域の地図をつくることになりました。自然、歴史、暮らしなどについて、なにを載せるのか、みなで紹介したいことを盛り込みたいと考えたら意外ときりがなく、どう書くかもまとまらない。時間をかけた話し合いの末行き着いたのは、思い切って季節の一時期にだけしかみられないもの、人によって見え方の違うものはカットして、訪れた人にも地元に住む人にも、誰にとっても共通な、川と川沿いの目印だけの白地図にするというものでした。季節毎のきれいな写真を使って黒尊を紹介する素敵なカタログ風のものを作ったとしても、きっとそれは見るだけで終わってしまう。それぞれが、そこに居て、来てみて、目に留まったものや、出来事を書き込むことで、きっと大切にとっておきたいような手帖になるんじゃないだろうか？



上段左から：水中散歩の後、手帖を描く / 黒尊まつりのテント / しゃえんじりのお弁当 / 電信柱の番号 / 左下：奥屋内の石カケ / 中：三椶を蒸し藁を縛う

## 手描きする散歩する、ペースとスケールに配慮

地図は大きくなり、目印にも一工夫必要になりました。川沿いの道にうねうねと続く一本道は、少し開けると田畑や果樹、集落が現れてはまた道幅が狭くなり山が迫るといった風景を何度も繰り返して、一度や二度来たぐらいでは、どこのカーブわかりにくいのです。そこで電信柱の、奥へ行く程大きくなる番号に注目。地図に▲印と番号を入れて、最寄りの電信柱を確認すれば現在地がわかるようにしました。あらたな看板など一切作らずとも、迷子対策になっています。

### A4 資料と手描き散歩

書き込むはずだった見所などの情報は、内容毎に A4 1 枚の白黒コピーにまとめられています。これまでに配布されているのは、初夏の草花、ほたる狩り、黒尊川にいる魚、安盛怨霊由来記、三極で紙漉き、藁を絞う、お菊が滝、森林軌道、葉っぱを描く、稲刈り、苔玉づくり、など。これは、年に数回おこなうイベント「くろそん手帖手描き散歩」のテーマと連動していて、初夏には草花の観察会、ほたる狩り、真夏の水中散歩、稲刈りや紙漉、史跡巡り、また「黒尊むら祭り」内の 1 テントで、ステンシルで紅葉を描いたり、苔玉を作るワークショップの手引きにもなっています。

手描き散歩の開催は、四万十市の広報、新聞、FaceBook などでも知らせていますが、定員は一度に市のバスに乗れる 20 名程。黒尊が四万十川の支流の中でも秘境と言われるのは、やはりアクセスの難しさもあります。四万十市中央公民館に集合後、バスで口屋内なら 30 分～さらに上流の方なら 1 時間。四万十市に朝 9 時集合は、地元の人以外にはなかなかハードルが高いと思いますが、半数近くが市外、高知市やそれよりも遠くからの方です。回を重ねてみると、約半数が 2 度 3 度と足を運んでくれるようになってきました。散歩の当日には日付が入った昔懐かしい旅の思いで風？小さな三角のペナント型シールを配布しているため、繰り返し参加の方の手帖の裏表紙にはコレクションができています。

そうそう、忘れてはならない散歩のお楽しみ、お昼に届けてもらうしゃえんじりのお弁当！川の恵み、黒尊の美味しいお米、野菜、猪や鹿にいたるまで、ほぼすべてが地元産、地元のお母さん達を作る安定の美味しさです。

## くろそん手帖展覧会

手帖は、手描き散歩に参加した方や旅行に来られた方に、できるだけ来年の展覧会に出品していただけるようお願いした上で配布されています。

文章、メモ、イラスト、写真、手帖のカスタマイズなどなど、それぞれのくろそん手帖は、こんな視点があったのか！と驚く程個性的です。ぜひ他の人を見たいし見せたいし！ということで、年度末には休校となっている口屋内小学校の体育館で「くろそん手帖展覧会」を開催。見に来た人は、手帖に添えられた用紙にコメントを残したり、一人 5 枚配布のシールを貼って投票できるようになっていて、最終日にはシールの枚数をカウントして表彰、副賞には黒尊のお米もプレゼントされました。さらにコーヒーとお菓子を注文して、一日だけの「くろそんカフェ」もオープン、来年はこんなことがしたいともり上がり、そこから産まれたのが大手帖です。

今回の展示は瀬や湊の名前編と、石カケ（石垣／石積み）編の 2 つ。厚めの紙に縦横ともに倍のサイズでプリントアウトして貼りつなぎ、写真やコメントを付箋で貼ってあります。これはまだ、これからみんなでより詳しく調べたりして共有してゆくための手帖です。地図から散歩が、散歩から展覧会が、展覧会からカフェが、カフェから新たな手帖が、地元の人と訪れた人が混ざり合い関わりながら、互いに楽しみ学び、自然にまた次の楽しみを生み出すことになっています。次は大手帖のテーマに沿った散歩の企画もできることでしょう。ちょっと遠い黒尊ですが、手帖を持って散歩してみませんか？



口屋内小学校での展示

FaceBook くろそん手帖のページ (FaceBook に登録していなくても閲覧可能です)

<https://www.facebook.com/KurosonNote>

くろそん手帖に関するお問い合わせは

四万十市教育委員会 生涯学習課

787-0012 四万十市右山五月町 8-22 四万十市立中央公民館 ☎0880-34-7311

(記事：多田さやか)